



FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第43号 2011.11.22

FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

十和田農場から 学外からの体験学習と見学

昨年度は、口蹄疫等、防疫上の関係で外部からの農場への立ち入りが禁止としたため、毎年恒例となっていた職場体験学習や十和田市内および近郊の幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の見学などを受け入れることが出来なくなりすべて中止しました。今年度は、口蹄疫も終息したため、万全の衛生対策を実施して、学外からの体験学習、見学などを積極的に受け入れています。職場体験学習「三中トライやるウィーク」では家畜の給餌、畜舎の除糞、掃除など動物と触れあいながら、家畜管理作業を体験してもらいました。また、見学に来た幼稚園児は、ヤギや羊を見て職員の説明を聞きながら記念写真を撮って楽しんでいました。万全な衛生対策を実施して、これからも学外からの体験学習や見学などを受け入れていきます。



八雲牧場から 来場者ぞくぞく

7月4日～6日にかけて、生産環境科学科(E学科)の学生実習が行われました。昨年度まで見学が中心のE学科の皆さんとは実習期間中に八雲牧場内で接する機会が少なかったのですが、今年度は場内での実習を半日間組み込んだため、直接触れ合うことが出来ました。E学科の研究室のテーマと八雲牧場での取り組みにも共通点が多く、実習の一つとして行った牧草の植生調査では、手早く作業をこなす姿に驚きました。また来年も充実した実習を準備できたら良いと考えています。

7月26日～29日の日程で、獣医学部生涯学習委員会主催の十和田市親子体験を受け入れました。今年は、3組6名の親子が来場し、釣りや、笹舟レース、ピザ作りにキャンプファイヤーと盛りだくさんの内容で、八雲の自然と資源循環型畜産を肌で感じてもらいました。恒例の輪投げ大会は、今年も大変盛り上がりました。

8月3日～7日、8月7日～11日、8月30日～9月3日、9月3日～8日にかけて、動物資源科学科(Z学科)の牧場実習が行われました。実習内容は、Z学科の先生方と牧場教職員で意見を出し合い、学生が考え、発見できる内容に改善しました。草地の植生調査では、今年からFSCの大学院修士課程に進学した足立陽子さんが、研究テーマである八雲牧場の窒素循環について、丁寧に説明をしてくれました。実習最後の反省会で学生が涙を流す場面もあり、受け入れ側としてもやりがいのある実習でした。来年は更に濃い実習になるように努力したいと思います。

8月22日～24日まで北里八雲牛の出荷先である東都生協の親子体験が行われました。東京から、組合員さんの親子とスタッフの15名が来場しました。東都生協からの要望で、牛の精子と卵子の観察を行いました。殆どの方が初めての体験で、驚きと感動の眼差しで、顕微鏡を見つめていました。北里八雲牛の受精卵移植について、ご理解頂けたと思います。最終日は、ピザ作りやバーベキューで北里八雲牛を十分に味わって頂きました。



9月13日～15日の日程で、昨年に引き続きヤマザキ学園の学生実習が行われました。動物看護系の専門学校、短大、大学を併せ持つ学校ということもあり、普段は都会で教育を受けている学生たちですが、普段見ることのできない牛に初めは戸惑っていた様ですが、動物に興味がある学生であることからすぐに慣れ良い体験ができた様でした。

日本畜産学会第114回大会で発表

獣医学部において日本畜産学会第114回大会が開催されました。八雲牧場からは小笠原教育系技術職員が「放牧など自給粗飼料100%で生産した日本短角種および肉用交雑種の枝肉成績と筋繊維型構成」、小野技能係長が「堆肥施用による牧草生産性および土壤中炭素貯留量への影響」という演題でポスター発表を行いました。

日本産肉研究会第8回学術集会で発表

小笠原教育系技術職員が8月24日に獣医学部で開催された学術集会の「新たな赤肉評価法に関するパネルディスカッション」のパネラーとして発表しました。

「第5回大学は美味しいフェア」へ出店

9月22日～26日にかけて、新宿高島屋第5回「大学は美味しいフェア」に加工品を出展しました。八雲牧場からは寶示戸牧場長と小野係長、折目教育系技術主任が参加し、広報課をはじめ、多くのスタッフに支えられ、無事会期を終了できた事に感謝しております。獣医学部職員の皆様にご協力いただいたブースの飾りつけは、学内スタッフだけでなく、高島屋のバイヤーや他大学にも好評でした。例年通りリピーターが多く、広告掲載品の牛丼の具は前年度比で1.5倍近い売り上げになりました。今年は、医療衛生学部や海洋生命学部、医学部の学生にも販売活動を通して八雲牧場の取り組みを理解していただきました。来年は獣医学部の学生にも是非協力して頂きたいと思ひます。



(編集担当：畔柳 正)